

 評価のポイント

CL-IV.専門的、倫理的、法的な実践能力

〔1-4〕 小児看護における倫理的課題に対する「チームでの支援」

- ① これまでに行ってきた話し合いの場面を振り返ってください
- ② ①についてどのようなプロセスが踏まれたか考えてみてください
- ③ ①について講義で示したアプローチから解決に向けての自分自身の行動を考えてみてください

講義でも触れていますが、「話し合い」とは、特定の問題や課題について意見交換をする場を指します。目的は、情報共有や意見交換、問題解決などで、非公式でも行うこともありますが、今回は倫理的課題に対する話し合いですので、合意形成と今後の方針までを見出せることが理想です。その際のアプローチとして、講義でお示したプロセスを下記に示します。必ずしも、これだけが正解と言う訳ではないので、それぞれの実践を振り返ってみてください。

○倫理的課題があると思われた事例について話し合いの場を持つとき、その進行に下記の点でどのようにかかわっているか

- ・話し合いのメンバーをそろえる準備
- ・話し合いにあたっての目的・ゴールの明確化
- ・話し合いの場で「医学的事実」など事実の確認
- ・話し合いの場で「こどもが主体」となった意見になっているか、なっていないと思われるときに軌道修正しているか
- ・話し合いの場で「他にできることはないか」の促し
- ・収束していく際の合意形成と今後に向けての役割分担